



**2017年 9月28日(木) 第12回 (通算2049号)**

例会プログラム

本年度第12回 [ 9月28日(木) ]  
プログラム

「神戸垂水 R.C. 神戸西神 R.C.  
合同観月例会」  
17:30 受付 18:00 開会  
於:神戸西神オリエンタルホテル 4F

シンギング  
「月」

次回例会プログラム

本年度第13回 [10月 5日(木)]  
プログラム

「米山月間 卓話」  
米山奨学生 張正峰さん  
於:大歳の間

シンギング  
「君が代」

**例会欠席される会員は、水曜日までに事務局にご連絡下さい**

**会合予告**

定例理事会④ 垂水プロバスクラブとの 親睦ゴルフコンペ	10月5日(木) 11月1日(水)	例会終了後 9:00 スタート	例会場 垂水ゴルフ倶楽部
ポリオチャリティーゴルフ 神戸第2G 予選 (兼 神戸第2G 合同ゴルフコンペ)	11月11日(土)	8:30 集合	チェリーヒルズゴルフクラブ

**幹事報告**

- ① ……ポリオチャリティーゴルフ 神戸第2グループ予選  
(兼 神戸第2グループ合同ゴルフコンペ)のご案内……  
日 時:2017年11月11日(土)マスター室前 8:30 集合  
場 所:チェリーヒルズゴルフクラブ  
参加費:10,000円(当日徴収致します)  
※各クラブより4名の参加要請です。  
※今回の優勝者と準優勝者には、2018年5月に廣野ゴルフ倶楽部で開かれる  
「チャリティーグランドチャンピオン大会」に参加して頂きます。  
※ポリオプラスへの寄付目標額を各クラブ3万円としています。松田ガバナー補佐が後日  
各クラブより徴収し、神戸第2グループとして寄付します。
- ② 10月のロータリーレートは1ドル112円です。(現行1ドル109円)

③・・・地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内(詳細及び参加希望は事務局まで)・・・

<神戸東 R.C.>

日 時：2017年10月26日(木)14:00～15:30頃(13:30～受付)  
場 所：ボレロ水道筋商店街作業所  
プロジェクト名：地域の福祉作業所を繋ぐ障がい者福祉作業所の設備改善  
※メイクアップ可。

<尼崎南 R.C.>

日 時：2017年10月28日(土)14:30～16:00(14:15～受付)  
場 所：尼崎学園  
プロジェクト名：児童養護施設の児童・少年の自立支援  
※メイクアップ不可。

<加古川中央 R.C.>

日 時：2017年11月5日(日)13:30～15:50(13:00～受付)  
場 所：加古川プラザホテル 2階  
プロジェクト名：障がい者スポーツから共生社会を考える市民フォーラム  
※メイクアップ可。

<甲子園 R.C.>

日 時：2017年11月18日(土)13:00～15:00(12:30～受付)  
場 所：関西学院大学硬式野球部グラウンド(第3フィールド)  
プロジェクト名：大学の硬式野球部が教える少年野球教室  
※メイクアップ不可。

## 9月21日(木) 例会報告

- ◆ゲスト 国際ロータリー第2680地区 ガバナー 瀧川好庸氏・地区連絡調整幹事 武井宏之氏
- ◆欠席者 原田君・河合君・増田君・森田君・田中君・渡邊君
- ◆メイクアップ 乾君・田中君(明石南 R.C.)9/15、永田君(クラブ管理運営・多様化合同委員会)9/15、  
原田君(2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ)9/20
- ◆出席率 会員数27(20)名 出席者21/24名 出席率87.50%  
出席率(メイクアップ含まず)86.36%

## 会長報告

本日例会前、ガバナー瀧川様・随行者 武井様と約1時間懇談会をさせていただきました。最初、瀧川ガバナーは難しい方かなと思っていましたが、お話をさせていただきましたら大変明るい方で、この地区を引っ張って頂ける素晴らしい方だと思いました。この後、ガバナーよりお話頂きます。よろしくお願ひ致します。

## 地区クラブ管理運営委員会 委員 永田会員

9月15日(金)、クラブ管理運営委員会第4回目の地区の会合に出席してきました。以前ご案内させていただきました10月29日(日)に予定されていたクラブ管理運営セミナーですが、講師の都合で日程が11月19日(日)に変更になります。場所はポートピアホテルです。多様化小委員会との合同セミナーとして開催されます。出席者は会長から指名された方が行って頂くようにとの事です。よろしくお願ひ致します。

## 社会奉仕委員会

- ① 区民講座出演校 8 校の生徒から感想文が届いております。1 部ご紹介致します。  
『今日は垂水サマーコンサートに参加させて頂き、ありがとうございます。サマーコンサートでは普段聴く事の出来ない他校の演奏を聴く事が出来て、学ぶ事がたくさんありました。また、聴いて下さる方が楽しかったと思えるようにスタンドプレイなどを考えたりするのが私達もとても楽しく、自分たちの演奏を聴いて頂ける場がある事に本当にありがたい事で、毎日の練習の励みになります。これからも聴いて下さる方のためにもっと練習しようと思うので、来年もこのような機会があればぜひとも参加させて頂ければ嬉しいです』  
16 枚頂いた感想の内、ほとんどが他校の演奏が非常に刺激になって励みになるという感想が多かったように思います。事務局に保管しておきますのでまたご覧下さい。
- ② 垂水区長より近平会員へ連絡頂いたそうですが、垂水区のホームページに垂水サマーコンサートの記事が掲載されております。インターネットで「垂水区」と検索後、「神戸市垂水区：トップページ」を開き、「区長のたるみっこレポート」をクリック頂くと記事が読めます。

## ニコニコ箱 (本日合計 21,000 円 / 累計 234,000 円)

国際ロータリー第 2680 地区ガバナー 瀧川好庸氏(ご挨拶)、藤田君・濱崎君・橋本君(瀧川ガバナー、武井様ようこそ。よろしくご指導下さい)、小坂君(瀧川ガバナーようこそ。次男が滝川第二高校でお世話になっています)、八代君(瀧川ガバナー、武井様、ようこそ神戸垂水 R.C. へお越し下さいました！野球、応援しています！)

## エンジョイBOX (本日合計 14,000 円 / 累計 91,000 円)

藤田君、濱崎君、山中君(瀧川ガバナーをお迎えして)、八代君

## ☆他クラブよりのお知らせ

休 会

10 月 10 日(火) 神戸六甲 R.C. (定款により)

10 月 31 日(火) 神戸六甲 R.C. (定款により)

## 会合開催報告

- ・ガバナー公式訪問 9 月 21 日(木) 17:15~18:15 会長・幹事懇談会  
18:30~19:30 例会  
出席者:会員 19 名
- ・ほろにが会プロジェクト委員会② 9 月 21 日(木) 19:30~20:00 於:例会場  
出席者:16 名
- ・オーケストラ練習⑥ 9 月 21 日(木) 例会終了後 於:例会場  
出席者:8 名・田中久美子さん・森本耕太朗さん

近隣クラブ例会プログラム (欠席会員はメイクアップをして下さい)

月日	時間	クラブ名/会場	プログラム
9月29日 (金)	12:30	神戸西 *1	食都神戸 2020 Part2 前田勝彦会員
	18:00	明石南 *3	心不全について 大森喜和会員
10月2日 (月)	12:30	神戸東灘 *4	→4日(水)18:30~に変更 観月家族例会の為 於:北野クラブ ソラ
	18:00	神戸南 *5	ラグビー 兵庫県ラグビーフットボール協会 会長 田中康憲さん
	18:30	神戸北 *2	米山月間に因んで 山田米山奨学委員長
10月3日 (火)	12:30	神戸東 *1	米山記念奨学委員長からのお願い 宮 昭久米山記念奨学委員長
	12:30	神戸ベイ *4	会員卓話 北浦 浩会員
	18:30	神戸六甲 *2	創立 30 周年記念例会
	18:30	神戸中 *1	米山月間に因んで 山田恵子米山記念奨学会委員長
	12:30	明石北 *6	→移動例会 明石公園内「TTT ビアガーデン」にて開催
10月4日 (水)	12:30	神戸須磨 *7	→17:30~に変更 観月家族例会の為
	12:30	明石 *6	落 語 落語家 桂 阿か枝氏
10月5日 (木)	7:00	神戸モーニング *10	クラブオーラム 奉仕プロジェクトの意見交換
	12:30	神戸 *5	トップアスリートに学ぶ勝者の思考法 臨床スポーツ心理学者 児玉光雄さん
	12:30	神戸西神 *8	米山月間に因んで 米山奨学生 黄詩婷さん
	17:30	明石西 *	→移動例会 会員家族月見例会の為 於:本松寺
<b>例会場:</b> *舞子ビラ *1 ホテルオークラ神戸 *2 クラウンプラザ神戸 *3 明康殿 *4 神戸ベイ・シェラトン *5 神戸ポートピアホテル *6 グリーンヒルホテル明石 *7 須磨観光ハウス *8 西神オリエンタルホテル *9 有馬グランドホテル *10 香港茶楼			

<地区よりのお知らせ>

・ロータリー財団セミナー

日 時: 2017年10月22日(日)13:30~16:45  
 場 所: 神戸国際会議場3階 国際会議室(301号室)  
 出席者: ロータリー財団委員長を含む3名(会長、幹事にこだわりません)

・危機管理セミナー

日 時: 2017年10月28日(土)受付13:00~(開場12:45) 13:30~16:35  
 場 所: 神戸商工会議所会館 神商ホール  
 出席要請者: 会長・会長エレクト・青少年奉仕委員長・社会奉仕委員長・米山記念奨学委員長の内、3名以上

・奉仕活動合同セミナー

日 時: 11月12日(日)受付13:00~ セミナー 13:30~16:45  
 場 所: 三宮研修センター  
 JR「三ノ宮駅」中央改札口からフラワーロードを南向き(海側)へ徒歩5分  
 地下道(神戸市役所方面)[C5]出口をご利用ください。  
 出席者: 会長・幹事・会長エレクト・ロータリー財団委員長・社会奉仕委員長・国際奉仕委員長の中から3名  
 ※補助金制度の関係から次年度に関わるものでもありますので、会長エレクトはなるべくご出席下さい

先ほど会長からも報告がございましたが、濱崎会長、橋本幹事、武井随員と共に 1 時間ばかり懇談会をもちました。このクラブは仲良くいいですねというお話と、色んな事をされている、特に一番大きなものは区民講座だと思えます。もう 30 回を数えられているというお話で、そしてしかも中学校のブラスバンドのコンサートで、多くの方々がおいでになったという事で、クラブと垂水区民のつながりの凄さを改めて思いました。とても楽しみなクラブですねという事を申し上げました。ぜひこういうものを CLP(クラブリーダーシッププラン)にのせて頂いて、「うちのクラブはこれだ」というものを外に打ち出していかれたらどうでしょうかというお話もさせて頂きました。そして、地区委員にも永田さんには 3 つくらいお世話になりありがとうございます。地区にご尽力を頂き、本当にありがたく思っております。そして来年度は澤村さん、神戸第 2 グループガバナー補佐よろしくお願い致します。

今年の始め 1 月にアメリカのサンディエゴで国際協議会というものがございました。ガバナーエレクトが教育される場で世界 540 地区ありますが、540 人のガバナーエレクトが集まってきます。それにご夫人方、現地スタッフを合わせますと 2,000 人近くが同じホテルに泊まって 1 週間色んな研修が行われます。かなりきつい研修でした。また、6 月にはアトランタで世界大会がありました。この 2 つの国際的な規模のロータリーの会合に出席すると、世界はそこにあるという感じで、世界のロータリーだということをつくづく感じました。私の年度には 6 月にトロントで国際大会があります。ぜひ一度そういう場を経験されるというのもロータリアンとしての勉強になると思えます。我々は国際的なものの一員だということ認識した方がいいのかなという風に思えます。

2016 年 5 月に、3 年に 1 度開催される規定審議会がシカゴでございました。シカゴで 2016 年 5 月に開催されて、そこで決定した事が 2016 年 7 月には施行せよという事になりましたが、日本語にも訳されていないしそんな無茶な話はないだろうと 1 年先延ばしにさせてもらい、2017 年 7 月 1 日より施行という事でお願い申し上げました。規定審議会で大きく変わったのは、今まで月 4 回例会をしなければならなかったのが 2 回でもいいという事になりました。2 回でもいいということですので、今まで通り 4 回開催しても構いません。日本の中の事情で考えれば月 4 回くらいできるのですが、アメリカやアフリカなどでは、地理的な事情で遠くてとてもじゃないができないという事も考えられます。メイクアップがインターネットでもいいという事になったのも、距離的な事を考慮したという事もあったようです。例会というのは、フェイス・トゥ・フェイスで、お顔を見ながら皆で食事し、ワイワイ言いながら、それでロータリーの肥やしを身に付けるということもあるのではないかと思います。

また、正会員と名誉会員だけがロータリー会員であったのが、法人会員や家族会員という事も入れていいという事になりました。自分の娘や孫も会員に入れていいわけです。会員資格も、職業を持っていないといけないしなかったのが主婦でもいいということになってきています。これが後々 10 年 20 年振り返った時に果たしてロータリーにとってよかったのか、あるいは間違った道を歩んでしまったのではないかという事が出てくると思えます。ただ、ロータリーの潮目が大きく変わったと言われていています。柔軟性が高まってきているように思えます。私が入会したころ、メイクアップは前後 1 週間しかなかったのが 2 週間になる等どんどんゆるくなってきている。これが果たしていいのか悪いのか、そういう事によって会員が増えるのか増えないのか、あるいはロータリー自体がどういう風になっているのか考えさせられるところが出てきていると思えます。

そのように変わりつつあるロータリーの 2017-18 年度会長は、イアン・ライズリーさんといいます。オーストラリアの方です。この方のおっしゃっているテーマが「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE(ロータリー: 変化をもたらす)」です。この方の言われた事の中で今まで RI 会長が言われたことがない事がひとつあります。「みんなで木を 1 本ずつ植えよう」とおっしゃいました。変化をもたらすためには今の地球の状況を変えなければいけないという事があったのかも知れません。オーストラリアは荒廃が激しく、山火事も頻繁に起こっています。コアラやカンガルーの住むところがなくなっていくという状況に追い込まれています。これを身をもって感じられているのだと思います。同様に、世界のあちこちで洪水などとんでもない事が起こっています。日本でも九州の大洪水があり、皆様にも募金のご協力を頂き、各クラブより集まったものを送金させて頂きました。290 万円ほど集まりました。その節は色々ありがとうございました。御礼申し上げます。地球が危機的状況であると思っていられるのだと思います。そういう事で木を 1 本植えましょうという話になっています。ロータリーは 120 万の会員がいますので、120 万本の木を植えることができます。

ロータリー 120 万の会員は、ここ 30 年変わっていない。日本、アメリカは減る、韓国、アフリカは増えて、プラスマイナスがゼロで、30 年前の 120 万人から変わっていません。これがロータリーにとって、

RIにとって不満なところであると思います。120万人のうち、45歳以下が5%しかいません。大半が60歳以上です。と、いう事でロータリーは変わらないといけないと危機感を頂いていらっしゃる。果たして5年後、10年後、各クラブ、ロータリー自体がどうなるか。若い人、女性を入れなければならない。女性に対して門戸を開放して30年になるのに、全体の20%しかいません。若い人、女性を入れ、いわゆる多様化という事をおっしゃっていますから、多様化をもってロータリーのこの危機を乗り越えていかなければならない。地球の持っている危機と同じような思いでいらっしゃるような気がします。

ライズリーさんが特におっしゃっていたのは、クラブのサポートをしなければならないということでした。若い会員を入れる。単発ではなく、こちらのクラブがされているような継続性のある奉仕活動をして欲しいとおっしゃっていました。そういうことをすることによって、自然とロータリーのイメージは上がってくると思うのです。いわゆる公共イメージの向上や広報などを改めてロータリーは求めています、そうでなくても、そういう事を地道にやっていって地場と密着していけば、自然とロータリーの公共イメージは上がっていくと思います。ロータリーの事があまりに知られていないという事が少しご不満だったようです。

しかし、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ、この5つにロータリー活動の根底として据えておかねばならないとおっしゃっていました。「親睦」これはロータリーにとって絶対に第一のものです。このクラブも非常に優れた親睦をなさっていると思います。「高潔性」これもやはり職業人としての高潔性は保っておかねばなりません。自分をいつも見つめて、自分の職業に対する考えはどうかという事に対しても頭においておかねばなりません。「多様性」これは色々な面からの多様性です。色々なところとのつながりをもった奉仕の仕方ができます。こちらのクラブであれば、垂水区とつながっています。あるいは、他の団体と一緒に何かしていく。そういう方向性も考えられる奉仕のあり方だと思います。そういう事を踏まえてガバナー補佐には2回集まって頂き、持続性、クロスプロモーション、多様性という事をお願い申し上げました。

長い間、私もロータリーの単年度制で育っています。ところがロータリー財団が活動し始めて、そのロータリー財団がテーマとして掲げたのが、「未来の夢計画」です。未来の夢計画というのは、この事自体が既に何年か、またはもっと長いスパンを考えています。こういう風な未来であって欲しい、その為にロータリーがそこに向かっていくのだという考えです。その一番のところがポリオ撲滅だと思います。ポリオ撲滅は未来の夢計画の最たるものだと思います。ポリオの撲滅は1年や2年でできるものではありません。ひょっとしたら100年でもできないかも知れない。しかし、これを未来の夢計画としてロータリーはやっていくのだというのが今のロータリーのスタンスだと思います。ですから継続年度として先ほど申し上げたCLPもこの中の一つだと考えて頂けるとと思います。クロスプロモーションというのは、例えば地区の委員会でも色々な委員会と一緒にセミナーを開催したりするのもクロスプロモーションだと思います。こういう事を根底に据えてガバナー補佐にお願いしたのが「ポリオチャリティーゴルフコンペをグループでして下さい」ということです。まず楽しんで、その中でみんなでチャリティーとしてお金を出していこう、そしてできればグループで20万ずつつくって下さいということ。2680地区は13グループありますから、260万円できるわけです。それを其々のグループのクラブが按分して行って、クラブの名前でポリオの募金に送ろうという方向性で考えています。既に但馬地区で約40万円集まりました。

もう一つ、クロスプロモーションとしてグループでもって青少年交換をやろうと考えています。現在、ブラジルに2人、アメリカに1人、ハンガリーに1人行っています。それが今来ていますが、それを受け入れているのが各クラブです。そういう事のできるクラブがどれくらいこの地区にあるのかという事を考えた場合に、資金が潤沢にあるか、会員数が多いとか色々な事が関係してきます。向こうからくる子供を受け入れるとなれば、ホストファミリーとして3ヶ月に一回引越す事になっていますが、3家族ほど作らねばなりません。これができるクラブがなかなか少ない。また、その子供を学校にやらなければならない。制服、交通費、授業料(これは無料にしてくれるところもあるようです)、色々出さなければならない。例会や旅行にも連れていかなければならない等もあります。これだけできるクラブはどれだけあるだろうか。そうたくさんはありません。これをグループでやればできるのではないかと思います。これは私の年度ではできませんので、次の矢野さんと相談しながらお願いしているところです。13グループありますから、13人は無理だろうから少なくとも7~8人はやろうと話しています。これもクロスプロモーションと考えて頂ければと思います。

このクラブでは、やはり会員増強はどうすればいいのかと考える中で、1つ手があるとするならば、学友というのがあります。青少年交換で帰ってきた日本の子供達、RYLAの子供達、ローターアクトの人達はロータリーというものがある程度分かっていますから、この人たちに声をかけてみるというのも考えられるかも知れません。先ほど会長・幹事さんより、会員一人一人が誰かひとり例会に連れてくるというお話も何

いました。それもひとつの手だと思います。色々な方法で会員増強を考えなければいけないと思います。学友にはかなりいい青年男女がいます。一度ローターアクトやRYLAの会に足を運ばれてはいかがかという気が致します。

また、インターネットの事は、マイロータリーやクラブセントラルとかきっちりされているようです。それもRIが非常に求められているところですので、このクラブに関してはすでに到達されているように思います。

サンディエゴの国際大会で仕入れてきた話をさせて頂きたいと思います。ニューヨークーパリの単独無着陸飛行に成功したチャールズ・リンドバーグの話です。サンディエゴ国際空港というのは、長い間リンドバーグ飛行場と呼ばれていたようです。1919年のことですが、ニューヨークのホテル王レイモンド・オルティエユという人がいました。その人物がニューヨークーパリ間を単独無着陸で飛んだ者には25,000ドルの賞金を出すと言いました。やってやろうと思ったのがリンドバーグです。しかし、飛行機を作る金がない。セントルイスの街で出資者を募りましたが、そう簡単には金は集まらない。それを聞きつけたのがセントルイスの商工会議所の会頭だったアルフ・クリスピーという人が「商工会議所の会員たちに声をかけてやろう」ということになりました。この青年の熱意に打たれた人たちが資金を拠出して、飛行機を作るお金はできました。その飛行機に「スピリッツ・オブ・セントルイス」という名前がつけられました。次は、飛行機を作る人物を探さなければいけません。当時は単独無着陸で飛べる飛行機はまだできませんでした。素晴らしい技術者がサンディエゴにいました。その人物はドナルド・ホールという人物でした。試行錯誤を繰り返し、1927年にやっと完成し、リンドバーグが「翼よ、あれがパリの灯だ」と言ったという事になりました。発案者のレイモンド・オルティエユをロータリー財団創始者のアーチ・クランプと重ね合わせるわけです。アーチ・クランプがいなければロータリー財団はない、レイモンド・オルティエユがいなければこの計画はなかったという事になります。

会場は拍手喝采でしたが、私はそれだけではないと思います。資金集めについても、たくさんお金を出した人も少額の人もいるでしょう。町の人で「よし頑張れよ」と1ドル2ドル出した人もいるでしょう。飛行機を作るにあたって、どんな優秀な人でも一人で作れるわけがありません。汗水、油まみれになり作った人がいます。そういう人たちがいて、初めて成功したと言えます。お金を出せる人は出せばいい、しかし出せなくても汗水を流す人も必要です。ポリオの事を考えても、ビル・ゲイツのように大きな金を出す人がいます。我々がロータリーに寄付して、ロータリーも同じくらいの金額を作る。そして、ポリオ撲滅に取りかかっています。しかし、お金だけ集まってもできません。アフガニスタンやパキスタンなどへ条件の悪い中子供たちにワクチン接種をしている人がどれだけいるだろうか。ロータリアンだけではなく、現地の人もいるでしょう。世界中の色々な人が子供たちにワクチン接種をしている。そして、それを支える看護師もどれだけいるでしょう。そんなことを考えた時に奉仕って何だろう、寄付って何だろうと思う訳です。できるところで我々はすればいいんじゃないか、汗水を流すなら流す。少額でも1ドルでもいい、出せる者は出したらい、たくさん出せる者は出せばいい。それがロータリーのあるべき本来の姿ではないかと思います。お金だけどんどん寄付をしろという事を求めるのは間違いではないかと思います。ロータリー精神というのは汗水流す者も、油まみれになる者も、お金を出す者もいて初めてロータリーの精神を体現した様々な事業ができるのではないかと思います。ご清聴ありがとうございました。